

平成23年度 民家野外博物館「川崎市立日本民家園」 目標と評価シート

■日本民家園の使命

日本民家園は、市民の文化・学術・教育の向上に寄与するため、つぎのを行います

1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます
2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います
3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します
4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします

※本文各項の「対象使命」欄で太字になっているものが、業務に該当する使命。

■外部評価の目的

(平成20年度日本民家園協議会[2009・3]資料より抜粋)

1. 日本民家園の使命を果たすために、園の充実発展に繋がる改善案を探す
2. 園の独りよがりな運営にならないよう、外部の方(利用者・有識者など)の客観的・率直・公平・多様な意見を聞く
3. 評価項目(年度当初案と結果)を公表することにより、広く日本民家園の業務を周知するとともに、実行性を高める
4. 評価を毎年継続実施する中で、前年度の評価や改善点を次年度以降に繋げる
5. 1～4を通じ、職員・協力者(市民)・関係業者のモチベーションを上げる

■評価方法

つぎの3段階とする。

- A: 目標を充分達成し成果を上げている
- B: 目標を概ね達成している
- C: 目標を達成しておらず改善が必要である

■添付資料

1. 古民家保存修理工事事業計画
2. 民俗部門整備計画
3. 民俗部門展示・出版計画
4. 民家園叢書一覧及び計画
5. 大岡資料目録一覧及び計画
6. 総合防災設備整備計画
7. 平成23年度事業報告

■目次

1. 民家野外博物館としての研究・展示・普及活動
 - (1) 文化財建造物・民具などの保存・整理・調査研究と補修の推進
 - (2) 展示及び教育普及活動の充実
2. 民家野外博物館としての運営・管理活動
 - (1) ミュージアム・マネジメントの確立
 - (2) 広報活動の強化と観光客の積極的誘致
 - (3) 利用者の利便性・快適性・安全性の向上

【収集・保存・整理】【調査研究】【情報発信】
【展示】【教育普及】

【総務】
【情報発信】
【管理】

1. 民家野外博物館としての研究・展示・普及活動

(1) 文化財建造物・民具などの保存・整理・調査研究と補修の推進

対象使命	1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。 2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。	3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。 4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。
-------------	---	---

現状：東日本における江戸時代の古民家を中心に移築復原した。長期計画を立て、緊急度の高いものから補修工事を実施している(資料1)。日常的な維持管理としては、燻煙と清掃、巡回警備を実施している。収集資料については、民具の整理を企画展示と連動して行い、目録を刊行(資料2、3)、建築関連資料についても大岡實博士文庫の整理を進め、目録や民家園叢書の刊行を行っている(資料4、5)。また、総合防災施設設備事業(資料6)も進行中である。

実施目標	中期目標(3年、H25まで)	H23年度計画	H23年度事業実績	指標	今後の課題
①文化財建造物維持管理の推進	屋根補修工事推進 その他補修工事实施 保存修理における伝統技術継承 燻煙と清掃の定期的実施	山下家・工藤家屋根補修工事 その他小修繕工事	山下家・工藤家屋根補修工事、震災・台風被害にともなう土壁・石積み・屋根修理、その他小修繕工事实施 燻煙と清掃の定期的実施	計画に対する達成度	文化財修理経験のある業者の数の確保 水車小屋修理
②収蔵資料整理の推進	企画展示に合わせた各民家収蔵資料整理 大岡實博士文庫資料整理	岩澤家・井岡家・太田家住宅の収蔵資料整理 大岡實博士寄贈資料(建築史)整理	岩澤家・井岡家・太田家住宅資料整理実施 大岡資料整理実施	計画に対する達成度	資料整理後の維持管理 大岡資料アルバイトの確保
③総合的防災対応体制の整備	防災工事实施(消火設備・自火報)、耐震診断6件補強設計4件補強工事2件 関連部署との密接な連携	防災工事实施(消火設備) 耐震診断2件(鈴木家・三澤家)	防災工事(消火設備)、耐震診断2件(鈴木家・三澤家)実施	計画に対する達成度	工事と開園業務との調整 予算確保 耐震補強方法の検討
④調査・収集・研究の推進	所在地民俗調査 大岡資料整理 野外博物館団体・研究者等との交流推進	井岡家・太田家住宅調査 大岡資料解説・分析 野外博物館団体・研究者等との交流(註1)	井岡家・太田家聞き取り調査実施 大岡資料解説・分析 野外博物館団体・研究者等との交流	計画に対する達成度	話者の高齢化と世代交代 大岡資料については、保管場所の整理
⑤学芸活動の成果公表	民俗資料目録・大岡資料目録・民家園叢書の刊行	岩澤家・井岡家資料目録刊行 民家園叢書刊行 太田家復旧映像のHP公開検討	『収蔵品目録15 旧岩澤家住宅』、『目録16 旧井岡家住宅』刊行 叢書は聞き取りをテープ起こし(叢書の代わりにガイドブックを増刷)	計画に対する達成度	目録作成後のデータ修正 大岡資料については、整理済資料のうち目録未作成成分の再確認

外部評価 評定意見	屋根の補修工事等の文化財建造物の維持管理及び総合防災工事は、年度計画通りに進捗しているが、耐震補強については、東日本大震災の経験から、重要性・緊急性を帯びた課題であることを踏まえた取り組みが求められる。総合防災工事は、工事期間中の来園者の安全、部分閉園に関する情報提供と来園者サービスの確保について、十分な配慮が望まれる。また、すべての工事の仕上げは、民家野外博物館である民家園の景観に馴染むものとなるよう、関係方面と調整することが望まれる。資料の整理、調査研究活動は着実に実施されていると評価できる。今後もさらなる充実を努めてもらいたい。大半の民具等は、スペースの都合で各民家に収蔵せざるを得ない状況にあるため、資料の管理状況及び収蔵環境として良好とは言いがたい部分がある。またこれは、民家の公開の面での制約も生んでいる。収蔵環境整備・資料活用のため、収蔵専用の場所の確保等、将来的に何らかの方策が求められる。	A
----------------------	--	----------

註1

長期目標として「民家園が民家保存継承に関するソフト・ハードの情報拠点として情報発信が可能となるよう、野外博物館団体・建築技能者・研究者・行政機関・民家所有者・民家愛好家などの支援・協力を得て情報拠点としてのネットワーク形成に寄与する」ことが挙げられる。

(2) 展示及び教育普及活動の充実

対象使命	1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。 2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。	3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。 4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。
-------------	---	---

現状：古民家を野外展示するとともに、民家の構造や暮らしについては常設展示室で、各古民家の暮らしについては企画展示室で順に紹介している(資料2、3)。古民家内では各地域の民具のほか、年中行事の展示を行っている。このほか、民家の補修工事や囲炉裏の火焚きなども展示の一環としてとらえ、作業風景が見られるよう工夫している。普及活動としては、学習講座・体験講座・お茶会・昔話等を実施しているほか(資料7)、学芸員実習や小学校の体験学習の受入もっている。炉端の会、民具製作技術保存会は民家園の教育普及活動を支え、協力者会議を開催して事業運営の改善を進めている。

実施目標	中期目標(3年、H25まで)	H23年度計画	H23年度事業実績	指標	今後の課題
①建造物等資料の公開展示の仕方の工夫	企画展示に合わせ民家内の展示整備 生活についての展示検討 説明板充実	岩澤家・井岡家内の展示整備 茅葺見学会開催	岩澤家展示整備 井岡家展示整備(オクドサン) 茅葺見学会開催(工藤家)	計画に対する達成度	展示整備後の維持管理
②企画展示の充実	各古民家及び建築用具をテーマとした企画展示開催	岩澤家展開催 井岡家展開催	企画展「神奈川の村 -愛甲郡清川村・岩澤家-」、「奈良の町屋 -旧井岡家住宅-」開催	企画展示室入室者数 企画展示解説人数	展示手法の多様化
③各種講座の充実	古民家・伝統的生活文化に対する理解を深めるための市民向け講座の開催	企画展に連動し講座を開催 建築の見方に関する講座を開催 体験講座の開催 受講者ニーズ把握	講座「神奈川の家」「西日本の民家」「300歳の民家」「民家は何の木でできているか」、各種体験講座実施 講座受講者へのアンケート実施	受講者アンケート満足度(註2)	ボランティア以外の一般受講者の確保 体験講座については講師の高齢化が課題
④建物解説・ガイドの充実	解説・ガイド活動の充実	解説補助パネルを引き続き作成 ガイド内容魅力向上	解説補助パネル作成(屋根一覧等) フリーガイドチームの活動拡充 園内ガイド実施時間の変更 ガイドブック増刷	解説・ガイド参加者数(註3)	解説補助パネル拡充
⑤催し物の充実	民家の魅力を引き出し、再来園のきっかけとなる催物の開催	夜間公開・お茶会・歌舞伎・人形浄瑠璃を開催 民具製作実演・昔話等の実施 月見・正月行事の開催	夜間公開(春中止)、お茶会、歌舞伎、浄瑠璃、民具製作実演、昔話、月見・小正月行事(申込制から当日自由参加型に)、南砺市との交流事業、フロンターレとの協力事業、サマーミュージアム	参加者数(註4) 無料入園 日入園者数	工事との調整 運営の簡素化

⑥図書コーナー設置	利用者向け民家・民俗関連の図書コーナー設置	原家図書コーナーの充実と運営方法検討、予算要求	予算要求資料を提出するも交渉過程で削除	計画に対する達成度	予算のかからない方法を検討
⑦伝統工芸館の充実活性化	藍染め体験の利用促進 講座・展示の改善 施設設備の補修・整備	藍染め体験のPR強化 館内施設整備・補修 アンケートの継続実施 佐々木家で藍染情報提供検討	正門に案内表示・佐々木家内に案内パネル設置、学校配布用チラシへの掲載、アンケートの実施 工芸館雨樋補修	体験者数	補修予算確保 工事実施時期の検討
⑧学校との連携の強化	体験学習・社会科見学の利用促進 中・高・大学の利用促進	体験学習・社会科見学の受入 博物館実習の受入	体験学習・社会科見学の受入 博物館実習の受入 入園料免除申請書の簡素化	見学校数、体験実施校数	工事との調整
⑨市民協働による事業の展開と民家園改善の推進	民技会の活動支援 催し物開催にともなう市民団体との連携強化 協力者会議、協議会の開催による運営の改善推進	民技会の活動支援 市民団体協力による昔話・お茶会実施 協力者会議、協議会の開催	民技会理事会出席、連絡調整及び協力依頼 協力者会議・協議会を開催、運営の改善検討	計画に対する達成度	会議出席者以外への情報提供
⑩ボランティア団体の活動支援と育成	学習会等研修機会の提供 ガイド等諸活動の支援 自主性・多様性を持った活動の促進	学習会等研修機会の提供 ガイド等諸活動の支援 ボランティア講座の実施 自主的運営の促進	学習会・園外研修会の実施 ガイド等諸活動の支援 ボランティア講座の実施 自主的運営の促進(出張展示) 床上公開棟増	床上公開棟数・利用者数、炉端活動延人数	佐地家門の床上公開情報提供方法の改善
外部評価 評定意見	調査研究の成果を踏まえた展示、講座・催し物等各種行事の展開、ボランティア団体等との連携による市民の学習の成果を活かす機会の提供等は、大変充実していると評価できる。また、民家ごとに民具の整理、旧所在地での補充調査、目録・報告書の刊行、企画展示の実施、当該民家における展示の改善等が、一連の流れとして確立し、着実に実施されている点は大いに評価できる。今後もそれらの維持向上を図ってほしい。伝統工芸館については、体験活動により参加しやすくするために、利用情報の提供のあり方等を検討する必要がある。学校との連携は、小学校については比較的順調に行われているが、特に中学校を対象とした受け入れの態勢やメニューの用意、教材開発、来園の促し方等に工夫が求められる。図書コーナーについては、来園者等の更なる学びにつながるよう、予算を要しない方途等も模索しながら、その設置・充実が図られることが望まれる。				A

註2 ①民家園講座 「講座の内容はどうか?」の質問で、「非常に良かった」「良かった」「普通」「あまり良くなかった」の4項目のうち、「非常に良かった」「良かった」と回答した人の割合。
②体験講座 「参加してどうか?」の質問で、「面白かった」「まあまあ」「つまらなかった」の3項目のうち、「面白かった」と回答した人の割合。

註3 民家解説・園内ガイド・団体ガイド(英語含む)利用者数。

註4 事業報告(社会教育要覧)の教育普及事業一覧から講座・園内解説・学校体験・床上公開・民家園まつり・多摩区民祭を除いた事業の参加者数。

2. 民家野外博物館としての運営・管理活動

(1) ミュージアム・マネジメントの確立

対象使命	1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。 2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。	3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。 4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。
-------------	---	---

現状： アンケートで来園者ニーズを把握するとともに、事業評価を実施し、運営の見直しを行っている。また、生田緑地再編に向け、岡本太郎美術館・青少年科学館と連携を強化し、各館の特色を活かす管理運営方法を検討している。危機管理については、消防訓練を実施、危機管理マニュアルも一部作成している。人的な資質向上をめざして各種研修も実施している。また、年間パスポートの販売等、リピーター確保のため工夫を重ねている。

実施目標	中期目標(3年、H25まで)	H23年度計画	H23年度事業実績	指標	今後の課題
①来園者ニーズの把握	アンケートの継続実施と分析結果の活用 回答の公表方法の確立	アンケートの分析と活用 囲炉裏端でのアンケートによる 中高年層のニーズ把握 回答の公表方法の検討	一般アンケート・床上公開アンケート・団体幹事アンケート実施、中高年層のニーズ把握 協力者会議で課題を共有化	来園者アンケート満足度(註5)	アンケートに対する回答の公表方法
②外部評価の継続と活用	事業評価制度の活用	事業評価の継続実施	事業評価をひき続き行い、ホームページで結果を公開	計画に対する達成度	事務作業の簡略化
③効率的な運営と生田緑地の施設運営管理一体化	一体化による管理方法の確立 指定管理移行時の業務の質確保 民家園の統一性維持	生田緑地の一体化を進める施設運営管理方法の検討 生田緑地連携事業の継続	指定管理者制度導入決定(学芸・統括業務は直営)、業務分担と仕様書作成、条例改正作業等実施	計画に対する達成度	学芸等業務の魅力向上、施設管理業務の指定管理者への確実な引き継ぎ
④危機管理体制の整備	危機管理マニュアルの整備 防災(火災・地震)訓練の内容充実と継続的実施	市民参加の訓練(火災・地震)実施と行動マニュアルの作成 文化財防火デー啓発事業実施 危険個所の現状把握	炉端の会訓練参加、文化財防火デー事業(焼損小屋公開等)、心肺蘇生法講習、協力者向け行動マニュアル作成、園内放送設備音響調査	計画に対する達成度	職員・委託業者向けマニュアル作成 訓練年1回は実施
⑤経済的な自立度	入園料など収入確保による安定的運営 (目標指標 25%)	収入の確保、支出経費の見直しによる安定的運営の実施(註6)	指標36.8%	歳出に占める歳入の割合(註7)	工事中の収入減に対する対応
⑥組織と職員の資質向上	園内の情報共有化 専門職の長期確保 職員の資質向上	園内の情報共有化の推進 職員の資質向上に向け、研修・講座受講・視察機会の確保(註8)	朝ミーティング・常勤会議等で情報共有化、民家解説・講座等への参加、近隣民家園視察	計画に対する達成度	非常勤職員職務分担明確化、常勤・非常勤間の情報共有化
⑦来園者確保	H23年度 100,000人 H24年度 90,000人 H25年度 90,000人 (工事による部分閉園のため)	H23年度 100,000人 年パス利用者確保(3.5%) 学校向け家族優待券継続配布 市博物館共通利用券使用促進 類似施設パンフレット配布	H23年度 106,323人 年パス利用者 3.0% 家族優待券継続配布(利用約470件) 共通利用券使用促進 他の野外博物館でパンフレット配布	入園者数、ハズポート売上枚数・入園者数(註9)	工事中の対応 工事情報の周知徹底

外部評価 評定意見	災害等の緊急時における、来園者・スタッフの安全や文化財建造物の保存のために、また指定管理者制度の導入を控えていることもあり、危険要因の把握、危機管理マニュアルの策定、関係機関と連携した防災訓練の回数・内容の充実等、喫緊の課題である危機管理体制を早急に確立することが求められる。経営指標については、設定した目標が概ね達成されている。職員研修を通じた資質向上に努めている点は評価できる。類似の施設への外部研修等相互訪問の折には、視察のみにとどまらず情報交換等、連携強化につなげる機会とすることも期待される。指定管理者制度の一部導入に向けた準備が進められてきたが、円滑に導入・移行がなされ、引き続き民家園の特性を活かした質の高い魅力ある運営が行われるよう、準備にあたってもらいたい。	B
--------------	--	---

- 註5 「全体の印象は？」の質問で、「よかった」「つまらない」「どちらとも言えない」の3項目のうち、「よかった」と回答した人の割合。
- 註6 「民家園の魅力を高める」ことを追求するのが入園者を増やす一番の方法であり、協力者会議・協議会などで議論を重ね実現化を模索している。
- 註7 歳出＝経常経費の決算額(修理工事・総合防災など特殊経費、人件費を除く)、歳入＝入園料・受講料収入など(国庫補助などを除く)
- 註8 専門職の配置のあり方の検討が必須である。
- 註9 入園者数は指標の一つであるが、入園者増だけでなく、熱心な入園者を評価する指標を検討する。

(2) 広報活動の強化と観光客の積極的誘致

対象使命	1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。 2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。 3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。 4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。
------	--

現状： ホームページの充実に力を入れているほか、各種広報物を制作し、市の関係機関や観光協会連合会とも連携しながら配布している。生田3館では広報についても連携を深め、共通の施設案内パンフや催物案内を発行している。また外国人誘致にも力を入れ、リーフレットの多言語化、英語版ホームページの拡充を進め、英語ガイドも実施している。

実施目標	中期目標(3年、H25まで)	H23年度計画	H23年度事業実績	指標	今後の課題
①民家園の魅力発信	広報予算費の確保 インターネットを利用した情報発信の推進	インターネットによる情報発信 HPの更新と改訂 車内ポスター掲出	適宜HPを更新、15秒CM制作協力、市バス全車両にポスター掲出、全国文化財集落施設協議会パンフレット棚新設	HPアクセス数	平成24年度に市全体のHP仕様変更予定のための対応
②外国人向け広報とサービスの充実	簡易版外国語リーフレットのHPアップ 羽田国際空港へのPR 英語ガイド充実	簡易版外国語リーフレットのHPアップ(2か国語) タガログ語リーフレット刊行(白黒版)	韓国語・スペイン語リーフレットHPアップ タガログ語リーフレット(白黒版)翻訳・編集	外国人入園者数 英語版HPアクセス数	引続き簡易版外国語リーフレットのHPアップを行う
③観光客の積極的誘致	経済局商業観光課・観光協会との連携 宿泊施設への広報物送付 観光業界へのアプローチ	経済労働局商業観光課・観光協会との連携 観光業界へのアプローチ バス駐車場確保のため働きかけ	商業観光課へ情報提供、招待券等商品の提供協力実施 都内宿泊施設へリーフレットを送付 188件中3件追加依頼有	計画に対する達成度	ハンブル・中国語圏観光客の誘致
④生田緑地の情報発信	生田緑地共通広報の継続 指定管理体制移行時の情報発信のしくみ作りと効果的運用	生田緑地共通広報の実施 区民祭等での関係機関との連携 アクセス表示改善へ働きかけ	藤子ミュージアム開館に伴うアクセス表示(地図・路面タイル等)・緑地内サイン新設協力、生田緑地リーフレット・催し物カレンダー発行、総合企画局との連携	計画に対する達成度	生田緑地の共通広報について関係機関との調整が必要

外部評価 評定意見	<p>広報活動は計画に従って実施されている。インターネットによる広報活動も、HPアクセス数年間10万件を超えてさらに増加傾向にあり、評価できる。園案内のリーフレットの多言語化は、国立の博物館と比較しても遜色なく、大変優れた取り組みであると評価できる。ただし、民家園への外国人の入園者数が減少したのは、東日本大震災の影響で外国人観光客の訪日数全体が減少したという外的要因によるとはいえ、残念であった。広報活動は、各種の取り組みを行っている割に、反応が鈍く期待したほどの効果が認められない部分もある。民家園単独の広報のみならず、生田緑地内の各施設と連携を図る等、より効果的な方法、方向性について探る努力を求めたい。シティセールスをはじめ、川崎市による各種の情報発信に、民家園関連の情報がさらに盛り込まれるためにも、市行政内部に対して情報提供等の働きかけを行い、理解を深めてもらう取り組みも検討すべきである。</p>	A
--------------	---	---

(3) 利用者の利便性・快適性・安全性の向上

対象使命	<p>1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。 2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。</p> <p>3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。 4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。</p>
------	---

現状：来園者サービス施設として、救護室や授乳スペース等を整備、ショップではオリジナルグッズも販売している。敷地内の環境は展示の一環として整備を進め、案内板の補修・増設、バリアフリー工事等を行っている。

実施目標	中期目標(3年、H25まで)	H23年度計画	H23年度事業実績	指標	今後の課題
①来園者サービス施設の整備・オリジナルグッズの開発	オリジナルグッズ制作と販売促進 休憩スペースの確保検討	伝統工芸館休憩室活用促進 オリジナルグッズ制作と販売促進 ベンチの増設	ベンチ1基修理増設	計画に対する達成度	予算の確保
②敷地内環境の整備	植栽管理 園内案内版の作成・修繕	植栽管理 園内案内板の作成・修繕	植栽管理実施 園内案内板の作成・修繕 「植物と暮らし」案内板新規製作	計画に対する達成度	指定管理業者への管理指導方法検討
③バリアフリーの推進	敷居スロープの継続的製作 園路手すり整備検討	敷居スロープ製作1箇所	三澤家スロープ着色、常設化 太田家・北村家スロープ製作	計画に対する達成度	塗装方法の検討
④窓口(券売・インフォメーション)業務の質向上	電話応対等の向上 研修(接遇・園概要)実施	接遇研修の実施(警備員含む) 案内文英語版拡充	接遇研修として新入職員窓口業務 意見交換会、警備・清掃の新人に 接遇・園概要研修を実施	計画に対する達成度	窓口業務用英語案内手引きの作成

外部評価 評定意見	<p>環境整備・バリアフリーについては計画通り達成されており、職員研修の実績も評価できるが、利用者サービスは不断の向上を目指してもらいたい。民家の床上公開にあたっては、博物館資料である文化財建造物の展示という本来的な意義に、休憩スペースの提供等来園者サービスの視点も、保存・公開とのバランスをとりつつ加えるよう検討してもらいたい。ミュージアムグッズは、来園の思い出を持ち帰ってもらうためのものでもあり、魅力のあるオリジナルグッズの開発が期待される。</p>	A
--------------	--	---

■各種統計

		平成23年度	平成22年度	平成21年度
1	企画展示室入室者数 ※センサー数÷2	24,777人	30,135人	10,365人
2	企画展示解説回数(人数)	10回(42人)	10回(73人)	8回(37人)
3	受講者アンケートによる満足度	①95%②93%	①96% ②89%	①100% ②97%
4	解説・ガイド回数(参加者数)	429回(4,839人)	402回(4,453人)	350回(4,524人)
	内訳1) 民家解説	10回(168人)	10回(197人)	10回(118人)
	内訳2) 園内ガイド	292回(1,874人)	300回(2,313人)	236回(2,116人)
	内訳3) 団体ガイド ※英語ガイド含む	127回(2,797人)	92回(1,943人)	104回(2,290人)
5	催し物参加者数	8,318人	9,050人	8,648人
6	無料入園日入園者数	6,195人	8,745人	8,856人
7	ハンカチ染め他体験人数	1,640人	1,375人	1,844人
8	見学学校数 ※幼～高校、学校体験除く	107校	109校	109校
9	学校体験実施校数	83校(市立74、市内私立1、市外8)	75校	73校
10	床上公開棟数	1,060棟	962棟	963棟
11	床上公開利用者人数 ※団体除く	153,877人	129,429人	130,198人
12	床上公開利用団体数	773団体	646団体	584団体
13	炉端活動延人数 ※炉端の会	4,347人	3,743人	3,751人
14	来園者アンケート満足度	95.6%	91.6%	91.1%
15	歳出に対する歳入の割合 ※()内は特殊経費・国庫補助金を含む場合	32.1%(36.8%)	37.4%(32.8%)	34.0%(25.8%)
16	総入園者数	106,323人	111,457人	109,907人
17	年間パスポート売上枚数	931枚	982枚	1,077枚
18	年間パスポート売上枚数内訳 1000円券/600円券	728枚/ 203枚	787枚/ 195枚	910枚/ 167枚
19	年間パスポート入園者数 /平均利用回数/割合	3,209人/ 3.44回/ 3.0%	3,512人/ 3.58回	4,136人/ 3.84回
	内訳) 年間パスポート入園者 1000円券/600円券	2,670人/ 539人	2,922人/590人	3,530人/ 606人
20	園HPアクセス数	104,347件	102,233件	91,962件
21	外国人入園者数	1,751人	3,073人	2,970人
22	園英語HPへのアクセス数	8,103件	9,707件	11,493件
23	市政だより掲載依頼件数(内掲載件数)	153件(22件)	109件(57件)	122件(51件)

事業評価シート 資料1

日本民家園 古民家保存修理工事 事業計画

単位千円

No	指定区分	建造物名称	葺材	修理履歴	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
1	重要文化財	旧伊藤家住宅	茅	S40移、S50屋(部分)、S54部、S62屋(部分・棟)、H3屋(部)、H7屋(部)、H13屋・部、H22屋(部)								
2	重要文化財	旧佐々木家住宅	茅	S42移、S48屋(部・庇)S55屋(部・棟)・部、S59部、S63屋(部・棟)、H2屋(庇)、H3屋(庇)H6部(不陸補正)、H9屋(部・棟)、H21屋・部							差茅 12,000	
3	重要文化財	旧江向家住宅	茅	S42移、S48屋(棟)、S51屋(棟・窓屋根)、S54災、S55屋(部)、S56屋(部・窓)、S58屋・部、H5屋(部・棟)、S8屋(窓)、H10屋・部、H21屋(部)				棟補修 差茅 15,000	差茅 18,000			
4	重要文化財	旧北村家住宅	茅	S42移、S54災(棟)、S60屋・部、H6屋(部)・部、H11屋(部)、H12屋(部)、H22屋(部)								
5	重要文化財	旧作田家住宅	茅	S43移、S52屋(棟)、S54災、S59屋・部、H6屋(部)・部、H12屋(部)				★ 屋根葺替 30,000				
6	重要文化財	旧太田家住宅	茅	S44移、S52(部、棟)、S57屋・部、H3～H4焼損復旧、H8屋(部)、H12屋(部)、H17屋(部)						★ 屋根葺替 25,000		
7	重要文化財	旧工藤家住宅	茅	S45～S46移、S56屋・部、H3屋(部)、H6屋(谷)、H8屋(谷)、H11屋(部)・H21屋(部)	★★★ 葺替 23,520							
8	県指定重要文化財	旧三澤家住宅	板	S46移、S51、S55、H4屋、H17屋							部分葺替 30,000	
9	県指定重要文化財	旧山田家住宅	茅	S60移、H5屋(部)、H17屋					★ 部分葺替 15,000			
10	無	旧山田家住宅便所	茅	S60新築、H18葺替								
11	県指定重要文化財	旧野原家住宅	茅	S41移、S56屋、H7屋、H17屋(部)		★★ 正面差茅 6,000				★ 部分葺替 18,000		
12	県指定重要文化財	旧鈴木家住宅	茅	S45移、S59屋、H4屋(部)、H21屋								差茅 15,000
13	県指定重要文化財	旧広瀬家住宅	茅	S43移、S54、S59、H5屋、H19屋(部)			★★★ ★ 葺替 21,000					
14	県指定重要文化財	旧岩澤家住宅	茅	H1移、H7屋(部)H18屋(部)			★★★ 部分葺替 10,000					
15	県指定重要文化財	旧菅原家住宅	茅	S58移、H6屋(部)、H14屋(部)		葺替 25,000						
16	県指定重要文化財	旧清宮家住宅	茅	S40移、S48、51屋(部)、S58屋、H5屋(部)、H18屋(部)						★ 部分葺替 13,000		
17	市指定	蚕影山祠堂	茅	S44移、S51S60屋、H6屋(部)		★★★ 葺替 5,000						
18	市指定	水車小屋	茅	S56移、H6屋(部)、H22屋(部)				葺替 5,000				
19	市指定	木小屋	杉皮	H5移		★ 葺替他 3,000						
20	県指定重要文化財	井岡家住宅	瓦	S61移					葺替 30,000			
21	県指定重要文化財	山下家住宅	茅	S45移、H8屋	★ 部分差茅 8,510				部分差茅 25,000		部分差茅 20,000	
22	市指定	沖永良部の高倉	茅	S44移、H15屋、H22屋(部)							★ 差茅 2,000	
23	市指定	船頭小屋	杉皮	S49移築、S60屋、H12屋						★ 葺替他 2,000		
		※修理履歴について※ 主に屋根に係わる修理履歴のみ記載。小規模自費修理は除く。 屋(部)＝屋根部分修理を表わす。屋(部)・部＝屋根部分修理とその他の部分修理を表わす。			★の数は平成17年の予定表より遅れた年数を示す							

日本民家園民俗部門整備計画

1. 現状

(1)整理・展示

平成15年度(2003)より資料整理・目録作成・企画展示と、3つの作業を連動させて進めている。同時に、民家の旧所蔵者を訪ねて衣食住・生業等について聞き取りを行い、調査報告を目録に合冊して刊行した。さらに、目録作成時の電子データを活用し、資料のデータベース化も進めている。

(2)保存

当園の収蔵庫は所蔵点数に比べて狭く、資料の大多数は古民家の屋根裏等に保管されている。保存環境は良好とはいえないが、改善を重ね、資料を直置きしないよう棚を設け、防塵用のクロスで覆う作業を進めている。また、清掃の委託範囲も屋根裏に広げ、ボランティアとも協同して清浄に保つよう工夫を重ねている。収蔵庫については平成17年度(2005)に酸化プロピレンによる全室燻蒸を行ったあと、新たに収蔵する資料については二酸化炭素ガスにより殺虫処理を行っている。また棚を増設して収容力を高め、同時に耐震補強も行った。

(3)収集

収蔵スペースがないため、現在積極的な収集活動は行っていない。

2. 基本方針

(1)整理・展示

民家を主とし、民具の展示はそこでの生活を知るための補助と位置づける。このため民家内には、その民家の資料を、その資料が本来あるべき位置に展示することを基本とする。旧来の展示(民家を展示スペースととらえたテーマ展示)が混在している様があるが、企画展示に合わせて整備する。

(2)保存

野外博物館という特性をよく理解し、民家で本来行われていたメンテナンス方法を取り入れながら、資料の保存環境の向上に努める。

(3)収集

川崎市には、市域の資料全般を収集対象とする博物館として市民ミュージアムがある。このため当園は古民家の博物館としての性格を活かし、建築に関わる資料を収集対象とする。

この他、各古民家の展示充実を図るため、旧所蔵者の資料は上記以外のものについても収集対象とする。

3. 今後の計画

(1)整理・展示

引き続き年に2棟(合掌民家を扱う年度は1棟)のペースで、資料整理・目録作成を進め、企画展示を開催する。同時に聞き取りを進め、各家ごとの生活習慣を記録に残す。古民家の旧所蔵者は急速に高齢化が進んでいるため、この業務は優先的に進めていく。

(2)保存

民家の屋根裏に保存されている資料の保存環境を向上させていく。具体的には、直置きされている資料をできるだけコンテナに収めて棚に収納し、清掃しやすい環境を作っていく。

(3)収集

収蔵スペースの都合上積極的な収集活動は行えないが、古民家の旧所蔵者から話があった場合は対応する。また、建築関係の資料については、作業工程を理解する上でまとまりのあるものについては収集していく。

日本民家園民俗部門展示出版計画

年度		タイトル	刊行物
15年度	前期	展示室整備	—
	後期	「芝居の立つ町」—船越の舞台のふるさと—	『日本民家園収蔵品目録1 旧船越の舞台』
16年度	前期	「家の神々」—作田家の守り札—	『日本民家園収蔵品目録2 旧作田家住宅』
	後期	「蚕影山」—養蚕信仰の世界—	『日本民家園収蔵品目録3 船頭小屋・蚕影山祠堂』
17年度	前期	「伊那の薬屋」—信州・三澤家のくらし—	『日本民家園収蔵品目録4 旧三澤家住宅』
	後期	「清宮家」—登戸に生きる—	『日本民家園収蔵品目録5 旧清宮家住宅』
18年度	前期	「山と風」—甲州・広瀬家のくらし—	『日本民家園収蔵品目録6 旧広瀬家住宅』
	後期	「雪に暮らす」—川崎で出会う北国—	『日本民家園収蔵品目録7 旧菅原家住宅』
19年度	前期	「むかしむかしかわさきで」—民家園のはじまり・重文伊藤家住宅—	『日本民家園収蔵品目録8 旧伊藤家住宅』
	後期	「千曲川のほとりで」—佐久の染物屋・佐々木家—	『日本民家園収蔵品目録9 旧佐々木家住宅』
20年度	前期	「川崎の近代和風建築」—旧原家住宅—	『日本民家園収蔵品目録10 旧原家住宅』
	後期	「南部曲屋」—重文・工藤家住宅の暮らし—	『日本民家園収蔵品目録11 旧工藤家住宅』
21年度	前期	「貞享四年」—年号のある民家・重文北村家住宅—	『日本民家園収蔵品目録12 旧北村家住宅』
	後期	「宿場の家」—奥州街道・鈴木家—	『日本民家園収蔵品目録13 旧鈴木家住宅』
22年度	前期	「登戸の左官」	—
	後期	「合掌造り」—野原家の暮らし—	『日本民家園収蔵品目録14 旧野原家住宅』
23年度	前期	「神奈川の村」—愛甲郡清川村・岩澤家—	『日本民家園収蔵品目録15 旧岩澤家住宅』
	後期	「奈良の町屋」—旧井岡家住宅—	『日本民家園収蔵品目録16 旧井岡家住宅』
24年度	前期	太田家	『日本民家園収蔵品目録17 旧太田家住宅』
	後期	山下家	『日本民家園収蔵品目録18 旧山下家住宅』
25年度	前期	大岡寛博士関連展示	—
	後期	江向家	『日本民家園収蔵品目録19 旧江向家住宅』
26年度	前期	「大工の道具」	—
	後期	山田家	『日本民家園収蔵品目録20 旧山田家住宅』
27年度	前期	「鳶職の道具・屋根職の道具」	—
	後期	東日本の養蚕用具	『日本民家園収蔵品目録21 別刊 佐地家供待・水車小屋・高倉・木小屋調査報告』

事業評価シート 資料4

民家園叢書一覧及び計画

日本民家園叢書1	日本古建築の特質 関口欣也 日本の塔 濱島正士	平成10年9月
日本民家園叢書2	日本の仏堂 鈴木嘉吉 桂離宮とその文化的背景 斎藤英俊	平成13年3月
日本民家園叢書3	多摩丘陵の農家 1955年細山 -日本民家園の発端- 関口欣也	平成15年3月
日本民家園叢書4	日本民家園の雪囲い 監修上野勝久・野呂瀬正男 編集大野敏・小坂広志・砂川康子・増渕和夫	平成15年3月
日本民家園叢書5	土蔵の屋根修理を通して見た茅葺の地域性 川崎市麻生区飯草家土蔵の事例から 大野敏	平成17年3月
日本民家園叢書6	日本民家園草創期の記憶 -旧三澤家住宅・旧工藤家住宅- 野呂瀬正男	平成18年3月
日本民家園叢書7	日本民家園草創期の記憶2 -沖永良部島の高倉・蚕影山祠堂・旧山下家住宅- 野呂瀬正男	平成18年12月
日本民家園叢書8	日本民家園草創期の記憶3 -旧鈴木家住宅・旧船越の舞台- 野呂瀬正男・田代勉・小坂広志	平成20年3月
日本民家園叢書9	日本民家園草創期の記憶4 -旧井岡家住宅・旧佐地家の門侍・水車小屋- 野呂瀬正男	平成22年3月
日本民家園叢書10	民家は何の木で出来ているか 中尾七重・布谷知夫	平成23年3月
日本民家園叢書11	日本民家園草創期の記憶5 -旧山田家住宅・旧菅原家住宅- 野呂瀬正男 (予定)	平成25年3月

事業評価シート 資料5

大岡資料目録一覧及び計画

大岡文庫目録	日本民家園大岡文庫蔵書目録	平成7年3月
大岡文庫目録	大岡實博士文庫写真資料目録Ⅰ	平成10年3月
大岡文庫目録	大岡實博士文庫写真資料目録Ⅱ 図面資料及び摺拓本資料目録	平成12年3月
大岡文庫目録	大岡實博士文庫書類資料目録Ⅰ	平成14年3月
大岡文庫目録	大岡實博士文庫書類資料目録Ⅱ (新築設計関連資料)	平成21年3月
大岡文庫目録	大岡實博士文庫原稿・調査ノート資料目録Ⅰ	平成15年3月
大岡文庫目録	大岡實博士文庫原稿・調査ノート資料目録Ⅱ (野帳)	(未定)
大岡文庫目録	大岡實博士文庫書類資料目録Ⅱ (大学関連)	(未定)
大岡文庫目録	大岡實博士文庫写真資料目録Ⅲ (プリント写真)	(未定)

事業評価シート 資料6

日本民家園総合防災整備事業

<p>1 目的:文化財建造物を火災の被災から予防又は最小限に防護するため。また大地震時に来園者の安全をはかるため。 2 理由: (1)開園40年を超え、消防施設の著しい老朽化と建造物の位置する高低差等から二件以上の建造物への消火能力に欠けること。 (2)開園以来水道配管の取り替え等を行っていないことに伴う老朽化、移築毎の配管の接続等から漏水事故が続いてきていること。 (3)職員の削減、管理面積の規模等から、旧式の防災設備では消火や入園者の避難誘導等への的確な対応が難しいこと。 (4)三澤家水車小屋間の園路改修が必要である。 (5)古民家の耐震性能を検討し必要な場合は耐震補強工事を施す。鈴木家について所有者診断をした結果5項目中2項目で基準を下まわり、早急に専門家の耐震診断が必要である。 (6)工事については文化庁から国庫補助事業(防災、特殊)の補助金交付申請書を提出する。</p>								
NO	事業内容	年度計画						
		20	21	22	23	24	25	26
1	調査・基本設計	○						
2	実施設計・文化庁協議・計画通知		○	○				
3	防災水道設備・自火報改修(国庫補助事業)			○	○	○	○	○
4	防災水道設備・自火報改修(市費)				○	○	○	○
5	三澤水車小屋間園路改修			○				
6	古民家耐震性能検討及び補強				○	○	○	○
事業費	合計	○	○	○	○	○	○	○
	財源	国庫補助金			○	○	○	○
		一般	○	○	○	○	○	○

事業名		日程	会場	内容等
企画 展示	「合掌造り」	-5/29	山下家2階	旧野原家住宅をテーマとした展示 展示解説月1回
	「神奈川の村」	7/1-11/27		旧岩澤家住宅をテーマとした展示 展示解説月1回
	「奈良の町屋」	1/4-5/27		旧井岡家住宅をテーマとした展示 展示解説月1回
常設 展示	文化財建造物展示	通年	園内	移築・復原した古民家等25件
	本館展示		本館展示室	民家及び民家の生活に関する展示
	石造物展示		園内	園路沿い 道祖神・庚申塔・馬頭観音等
	民俗資料展示		各古民家	生活用具・農具等
展 行 事	年中行事展示	毎月	北村・清宮・原	節句雛・田植え祝い・盆棚・小正月飾り等古民家の年中行事を展示
	雪囲い	11/26-3/18	山田家	雪と寒さを防ぐ雪囲いを再現
工 芸 館	藍工	4/20-7/26	伝統工芸館	型染め、絞りによる藍染めTシャツの展示
	干支「杢形の竜」	11/30-1/17		
	講習会作品他	8/1-11/30,2月-3月		

教育普及活動

民家園 講座	300歳の民家	6/12・19	原家・園内	外山明彦(園職員)	19人
	神奈川の村	7/2・9		大野敏(横浜国大准教授)、渋谷卓男・根本佐智子(園職員)	18人
	民家は何の木でできているか	12/3・10		中尾七恵(武蔵大総合研究所)	20人
	西日本の民家	2/18・25		大野敏(横浜国大准教授)、渋谷卓男(園職員)	20人
ボランティア講座		1/14-2/4	原家ほか	新規会員向け、畑山拓登・外山明彦・渋谷卓男・田村央貴(園職員)	15人
体 験 講 座	わら細工	5,10,11,12月	原家、作田家	ぞうり、わらじ、カメとカツムリ、しめ縄 民具製作技術保存会	47人
	竹細工	5,7,11月		六つ目かご、菱四つ目かご、手付六つ目かご 民具製作技術保存会	67人
	はた織り	6月,11月		裂き織り、綿の実から糸まで(糸紡ぎ) 民具製作技術保存会	31人
	親子体験	7月,8月		あしなか、ヤシロヘエとサッカーボール、簡易機 民具製作技術保存会	60人
藍 染	しぼり染め	4月,10月,2月	伝統工芸館	初級(2回連続×2回)、中級(2回連続)	29人
	型染め	7月,9月,11月		初級、中級、干支(各2回連続)	38人
特 開 公	夜の民家園	10/15・16	宿場・信越	昔話、落語、夜なべ仕事 炉端の会・民具製作技術保存会	341人
	旧船越の舞台	9/23-10/16		国指定重要有形民俗文化財の内部公開 炉端の会	2,191人
民家園 まつり	無料開園	11/3	全園		4,512人
	農村歌舞伎	11/3	船越の舞台	秋川歌舞伎あきるの座(東京都無形文化財)	444人
	むかし遊び	11/3	太田家他	民具着用体験・輪投げ・竹馬・機織りなど 民具製作技術保存会	609人
	民技会作品展示頒布会	10/2-11/20	太田、原、鈴木	日祝のみ 民具製作技術保存会	-
芸 能	伝統技術実演	11/2・3	佐々木家他	堂宮彫刻など 伝統技術技法を保存継承する会、日本水引工芸研究会	-
	人形浄瑠璃	9/26	工藤家	相模人形芝居下中座(国指定重要無形民俗文化財)	193人
緑 地	生田緑地サマーミュージアム	8/7	緑地全体	民家でござ寝、蚊帳、水鉄砲、井戸汲み、うちわ作り、フロンターレ藍染他	636人
催 し 物	むかし話	奇数月2回、偶数月3回	作田家ほか	おはなし万華鏡、みちのくむかし語り、大平悦子氏、日本民話の会	1,141人
	お茶会	5/1・21,11/6・13	佐々木家	たちばな会、和佳会、内田社中・県立川崎北高校茶道部	480人
	おと絵がたり	4/23	作田家	おと絵がたりの会	28人
	むかし遊び	5/1・3・5	作田家ほか	民具製作技術保存会	431人
	琵琶と人形による語り舞台	4/17	佐々木家	kikiふおれすと	116人
	箏語り	4/30,7/23	原家・作田家	東風(中しまりん・高井城治)・景山聖子	196人
	和太鼓	5/3	作田家	かなほど座	211人
	お茶作り実演	5/12	岩澤家	炉端の会	-
	お蚕さまの絹糸	7/17	野原家	繭から絹糸を取り出す、くず繭から糸をずり出す 民技会	57人
	まゆ玉団子作り	1/14	北村家	民具製作技術保存会	20人
	お月見しよう	9/10	北村、科学館	十五夜のお供え作り 科学館では月の観望 炉端の会ほか	16人
	五箇山がやってくる	10/15・16	野原家他	物産展、こきりこ公演	1,456人
	多摩区民祭	10/22	全園	無料開園 骨董市他	1,848人
	実演大工仕事、大工入門	10/23	作田家	昔の大工仕事実演と、大工仕事の体験 神奈川土建川崎多摩支部他	148人
	お正月を遊ぶ	1/4	作田家他	正月遊び、餅つき、獅子舞等 着物で入園無料 三吉野、炉端の会、民技会	456人
屋根葺き替え見学会	2/19	工藤家	外山明彦(園職員)	50人	
ガ イ ド	民家解説	第4土曜	園内	1時間で1つの村を案内	168人
	園内ガイド	通年	園内	土・日・祝は午前と午後、平日は午後 炉端の会	1,874人
	団体ガイド	年間	園内	団体の希望に応じ園内をガイド(日本語・英語) 炉端の会	107団体
床 上 公 開		毎日	3-5棟	囲炉裏に火を入れ、床上部分を来訪者に公開・解説 炉端の会	153,877人
民 具 製 作 実 演		不定期日曜	園内	わら・竹細工、機織り、紙すき 民具製作技術保存会、柄戸忠二	232回
学 校 見 学 (体 験 学 習 な し)		年間	園内		107校
学 校 体 験 学 習		年間	園内	大八車・井戸汲み・石臼・天棒等の体験 園職員	83校
博 物 館 実 習 生 受 入		6月-12月	園内	5回、各10日間	23人

調査研究・広報・施設管理

研 究 査	移築民家旧所在地調査	井岡家、太田家			
	収蔵資料整理	岩澤家・井岡家・太田家関係資料、大岡資料(建築)			
	刊行物	『収蔵品目録15 旧岩澤家住宅』『収蔵品目録16 旧井岡家住宅』『民家園ガイドブック』(増刷)			
広 報	印刷物	民家園だより、催し物カレンダー、生田緑地催し物パンフ、生田緑地リーフレット、B3ポスター、学校向け優待券			
	施設 管 理 維 持	古民家等保存修理工事	工藤家・山下家屋根補修、雨漏り応急処置、壁・建具・敷居・土間三和土などの補修		
	園内整備	総合防災整備工事(江向・佐々木・北村・伊藤消火設備更新)、耐震診断(鈴木・三澤)、植栽整備、倒木・危険木伐採、園路補修、案内板補修・作成など			